

「成田水素ステーション」がオープンします！ ～燃料電池車で成田空港から都心へ～

弊社は、環境にやさしい空港『エコ・エアポート』を目指して、積極的に環境負荷削減への取り組みを進めております。

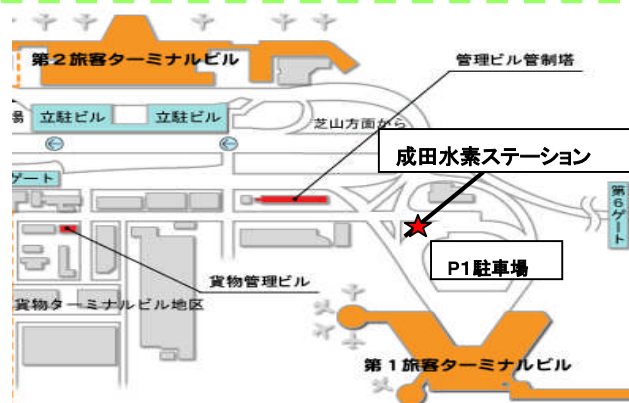
この度、次世代のクリーンエネルギーとして注目を集めている水素を燃料とした「燃料電池自動車」による実証実験「水素ハイウェイプロジェクト」※¹へ協力し、成田国際空港内に設置された「成田水素ステーション」(出光興産株式会社が建設・運用)が2月26日(土)から運用開始されることになりました。

なお、運用開始を記念して、3月8日(火)に下記のとおり『開所式』が開催されますので、お知らせいたします。

記

《成田水素ステーション開所式》

主 催 者 HySUT, 出光興産株式会社
実 施 日 時 3月8日(火)15:00 から 50分程度
実 施 場 所 成田水素ステーション(P1 駐車場付近)
実 施 内 容 テープカット, 見学会
出席予定者 経済産業省, HySUT, 出光興産株式会社, 全日本空輸株式会社
松崎交通株式会社, 成田国際空港株式会社



※ 1 水素ハイウェイプロジェクト

経済産業省「水素利用社会システム構築実証事業」の支援のもと、水素供給・利用技術研究組合(HySUT※²)が、都心から成田空港、羽田空港に燃料電池自動車のハイヤーやバスを運行し、これらに水素を供給する水素ステーションを建設・運営する実証試験。

※ 2 HySUT(The Research Association of Hydrogen Supply/Utilization Technology)

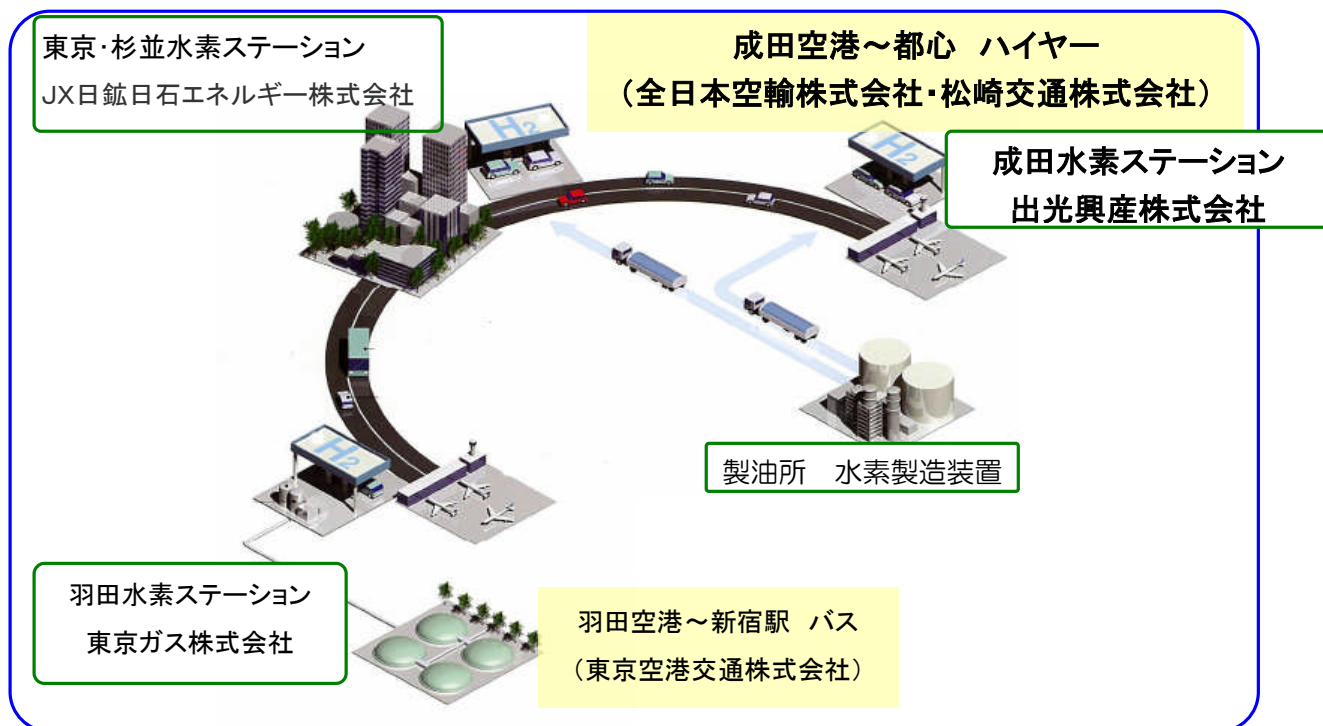
民間13社が、水素の供給・利用に関する技術やノウハウを結集し、自動車メーカーとも一体となって水素供給ビジネスの事業化に向けた供給安定性、経済合理性、環境適合性などの検証をするために、2009年7月に設立された研究組合。

HySUT のホームページ → URL: <http://hysut.or.jp/business/highway/index.html>

■ 成田水素ステーションの概要

建設、運用		出光興産株式会社
水素供給方式		水素カードル供給によるオフサイト型
圧縮設備	能力	50Nm ³ /hr
	圧力	40Mpa
蓄ガス設備	内容積	300L × 10 本
	圧力	40Mpa
充填圧力		35Mpa
主要構成機器		水素受け入れユニット、圧縮機、 蓄圧器、ディスペンサー
所在地		千葉県成田市木の根字神台24番地

■ 水素ハイウェイイメージ



※既に羽田水素ステーション、東京・杉並水素ステーションは運営されている。